

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

10月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ

報告数は0件(前月比-、前年同月比-)で、6月以降発生無しが続いています。全国の定点医療機関からの報告総数は昨年同時期の1%であり、今年は静かなインフルエンザシーズンの幕開けとなっています。今後、感染対策が緩和されるにつれ増加していく可能性もあり、注意が必要です。

小児科定点

(全体傾向)

報告数1,188件(前月比 0.94、前年同月比 0.28)でした。今年1月から昨年の半数以下の低水準で推移しています。多くの感染症が過去数年に比べて著しく減少したままである上に、先月からヘルパンギーナの急激な減少が続いたため、今月の全体報告数はさらに減少しました。新型コロナウイルス感染の予防対策(三密回避、マスク着用、手洗い、換気など)を続けていることで、飛沫や接触により拡がる他の感染症も減少していると推測します。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症 : 報告数1件(前月比-、前年同月比0.0)でした。5月以降ほとんど報告はありません。例年9・10月は流行のピークですが、このまま流行無く過ぎてしまうのか注視が必要です。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数50件(前月比2.2、前年同月比0.4)でした。7月以降減少傾向でしたが、増加に転じました。例年通り冬季に向けて増加していくと思われます。年齢別では1歳以下が7割を占めています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数156件(前月比2.1、前年同月比0.4)でした。前月の2倍に増えましたが、いまだ例年よりも低い水準が続いています。菊池、次いで宇城、人吉、八代地区から多く報告されました。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数481件(前月比1.2、前年同月比0.3)でした。2月からの低水準は続いています。先月から微増傾向です。例年、年末年始に向けて増えていきますので注意が必要です。すべての年齢層で発生しています。菊池、有明、山鹿地区から多く報告されました。
5. 水痘 : 報告数37件(前月比1.2、前年同月比0.9)でした。前月比、前年比とも大きな変動はなく、例年なみで推移しています。
6. 手足口病 : 報告数57件(前月比0.7、前年同月比0.1)でした。例年のような夏場の流行はみられないまま低水準で推移しています。1歳にピークがみられます。
7. 伝染性紅斑 : 報告数5件(前月比1.7、前年同月比0.0)でした。昨秋からの流行は春に収束し、6月以降は一桁の報告が続いています。今月は菊池地区からの報告のみでした。
8. 突発性発疹 : 報告数183件(前月比1.3、前年同月比1.4)でした。前月比、前年比とも大きな変動はありません。菊池からやや多く報告されました。
9. ヘルパンギーナ : 報告数49件(前月比0.1、前年同月比0.3)でした。8月のピーク以降は急激な減少傾向が続き、今年の流行は収束したようです。水俣、天草地区からの報告が続いています。

10. 流行性耳下腺炎 : 報告数18件(前月比3.0、前年同月比0.4)でした。昨年末から低水準が続いています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数 23 件(前月比 1.6、前年同月比 0.2)と前月よりも若干増加しています。熊本 20 件、菊池 1 件、有明 2 件の報告です。年齢別では 20~39 歳にピークがありますが、50~59 歳にもう一山多めの発症があります。

STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :
報告数65件(前月比、前年同月比共に0.9)で、前月比、前年同月比ともに微減しています。男女別は、男性37件、女性が28件で、年齢別では、男性は15~70歳、女性は15~39歳の年齢層にみられました。地区別では、熊本が51件と圧倒的に多く、宇城が5件、菊池と八代が3件、有明が2件、御船が1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :
報告数12件(前月比0.7、前年同月比0.5)で、前月比、前年同月比共に減少しています。男女別は、男性が8件、女性は4件でした。年齢別では、男性が20~69歳、女性は20~70歳以上にみられています。地区別は、熊本が全男性で8件と多く、菊池と八代が各2件で共に女性でした。
3. 尖圭コンジローマ :
報告数は9件(前月比0.8、前年同月比1.5)で、前年同月比で増加しています。男女別では、男性が6件、女性が3件でした。年齢別では、男性は20歳~64歳、女性は25歳~49歳にみられています。地区別では、熊本は8件、菊池が1件でした。
4. 淋菌感染症 :
報告数は19件(前月比1.0、前年同月比0.9)で、前年同月比で微減しています。男女別では、男性が16件で、女性は3件でした。年齢別では、男性は15~64歳にみられ、女性は25~34歳でした。地区別は、熊本が15件で、宇城が3件、有明が1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :
報告数は19件(前月比:1.1、前年同月比:1.1、男女比:11/8)で増加傾向にあります。熊本(8)、阿蘇(5)、有明(3)、山鹿・水俣・人吉(1)でした。年齢分布としては70歳以上(14)、40-69歳で各年齢層約1例程度報告され、引き続き高齢者で集中して多く検出されました。
▼昨年並みの報告数で推移しています。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :
報告数は3件(前月比:3.0、前年同月比:0.8、男女比:3/0)で増加傾向にあります。熊本(3)でした。年齢分布としては1-4歳(2)、65-69歳(1)でした。
▼例年並みの報告数で推移しています。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-、男女比：-/-）で報告はありませんでした。
▼例年同様に散発的な報告のみになります。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は1件（前月比：-、前年同月比：-）で熊本(1)でした。年齢層としては70歳以上(1)でした。
▼例年同様の経過です。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない経過です。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない経過です。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない経過です。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年同様に検出はありません。

届け出対象感染症

| | | | |
|-------|---|----------------|------|
| 1類感染症 | ： | ありませんでした。 | |
| 2類感染症 | ： | 結核 | 15件 |
| 3類感染症 | ： | 腸管出血性大腸菌感染症 | 8件 |
| 4類感染症 | ： | レジオネラ症 | 6件 |
| | | 重症熱性血小板減少症候群 | 2件 |
| | | 日本紅斑熱 | 8件 |
| 5類感染症 | ： | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 1件 |
| | | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 1件 |
| | | 梅毒 | 8件 |
| | | 百日咳 | 5件 |
| 指定感染症 | ： | 新型コロナウイルス感染症 | 231件 |